

「芝浦工業大学 笑顔のまちなこそプロジェクト」活動報告 (2023年12月3日)

私たちの母校である「芝浦工業大学」の在校生が、いわき市勿来町で町おこしのお手伝いをしています。そして、7月と8月に、その活動の一部をご紹介してきました。(「福島支部だより」の第2号に掲載し、会員メールにて報告しております。)

その後の活動状況が分かりましたので、この場にて報告します。また、校友会福島支部として、感謝の気持ちをこの報告書で伝えたいと考えております。

1. 子供達の「土のお城」制作 (12月3日)

子供達と土を使った交流の姿をご紹介します。

この活動は、敢えて目標を定めず、子供たちの自発性を尊重して進められました。最初は、土の中の微生物を顕微鏡で観察し、土の役割りについての勉強をしました。

後に、子供達から、土を使ったお城を作りたいという希望があり、角材で骨組みを作ったり、土で壁を作る作業を行いました。

大事な事は、この過程において、子供達と交流を図れたこと。子供たちが、お兄さんやお姉さん方の力を借りながらも、自分達で考え、お城を作り、その達成感を味わったことだと思います。

とても素晴らしい活動をされていると思います。



拡大

2. 海水浴場の清掃活動 (12月3日)

大学生のお兄さんお姉さん方と一緒に、海水浴場のごみ拾いをしました。地球環境を守ることの大切さを知り、看板制作に取り組みました。





3. 第2回 勿来の関こどもトレイルの実施

第1回目の勿来の関こどもトレイルでは、いわき市の環境アドバイザー2名が同行し、地元の5家庭の親子の方と大学生と一緒に歩くイベントでした。

その時参加されていた歴史専門家が、偶然、トレイルコース内に城跡を発見したことに基づき、今回は、歴史的な観点での散策を実施しました。

※ 以上の報告書内容は、笑顔のまちなこそプロジェクト様から送られたメールをまとめたものです。

芝浦工業大学では、学生が主体的に企画・立案し、メンバー全員が協力し合い目標に向かう、独自のプロジェクトを募集しています。笑顔のまちなこそプロジェクトはその募集に応募した団体の一つです。

そして、笑顔のまちなこそプロジェクトでは、構成員を以下の7つの班に分けて、地域の振興と活性化を目指す活動をしています。以下に7つの班を紹介します。

植田班，環境班，農業班，発酵調味料の事業化班，自転車産業活性化班
防災班，集落復興支援事業班

学生プロジェクトについて

